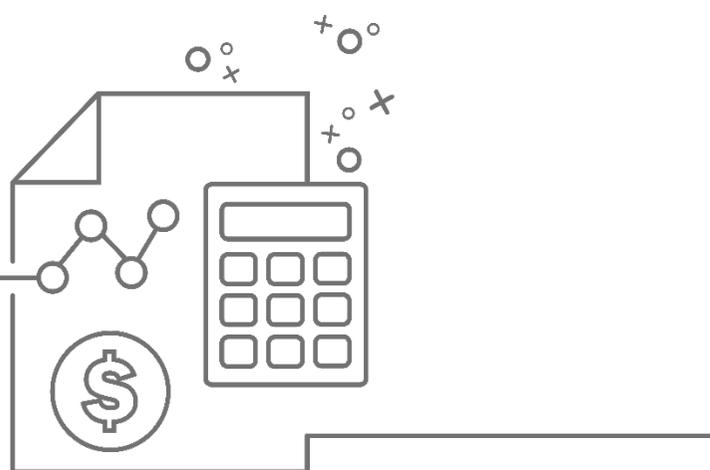


# 資本コストや株価を意識した経営の実現

2024年6月19日



東京証券取引所 プライム市場  
証券コード:7600

## 資本コストや株価を意識した経営の実現

当社グループは、連結売上高拡大とともに、収益性・製造能力強化への投資、製品ポートフォリオマネジメント強化、売上原価低減・販管費効率化等により収益性を向上し、株主資本コストを意識した経営を実現します。

### 1. 現状分析

<中期経営計画「MODE2023」で目標とした指標、及び実績>

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標
売上高(百万円)	19,193	18,700	21,307	20,000	23,177	22,000
営業利益(百万円)	2,661	2,700	2,024	3,000	1,746	3,500
営業利益率(%)	13.9	14.4	9.5	15.0	7.5	15.9
当期純利益(百万円)	2,135	1,800	1,423	2,000	1,271	2,300
ROE(%)	10.7	9.2	6.4	9.5	5.2	10.0
ROIC(%)	7.9	8.1	5.6	8.5	4.5	9.0

中期経営計画「MODE2023」では、最終年度の2024年3月期において、連結売上高 231 億円、営業利益率 7.5%、ROE5.2%、ROIC4.5%と米国製造原価の悪化、及び急激な円安進行による日本国内の売上原価率の上昇の影響で収益性が低下し、株価も PBR1 倍割れの状態となっています。

### 2. 改善に向けた具体的な取組み

PBR1 倍割れの改善策として、長期 VISION「RT500」(2025年3月期～2033年3月期)のはじめの3年間である1st Stage(2025年3月期～2027年3月期)最終年度までに連結売上高 300 億円、営業利益率 10.0%以上、ROE8.0%以上、ROIC7.0%以上を目標とします。目標達成の施策として、新製品導入により日米売上高を拡大し、円安進行による日本国内の原価悪化対策や米国製造原価の低減策として SAICO プロジェクトなどに取り組むことで、収益性の向上を図ります。また、製品ポートフォリオを定期的に見直すとともに、新製品開発など成長投資を行い、株主資本コストを意識した経営を実現します。なお、株主還元策については、安定配当を基本とし、配当性向 30%以上を目指します。

## 資本コストや株価を意識した経営の実現

<1st Stage で目標とする指標、及び実績>

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
	予想	目標	目標
売上高(百万円)	25,200	27,400	30,000
営業利益(百万円)	1,850	2,350	3,250
営業利益率(%)	7.3	8.6	10.8
当期純利益(百万円)	1,300	1,600	2,300
ROE(%)	5.0	5.9	8.0
ROIC(%)	4.5	5.6	7.4
配当性向(%)	30.5	30.0	30.0